

競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ

（1）参加学校（チーム）の顧問（監督）の皆様へのご協力をお願い。

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、以下の留意点遵守にご協力をお願いします。

- ① 参加選手の体調の管理をお願いします。体調が悪い選手は競技会への出場を辞退させていただきます。
- ② 熱中症など防止対策として長距離種目については、指定地点（ゴール地点から前方のシャッターを出て右側）に各校1名の付き添いをつけてください。
- ③ 学校関係者以外では、保護者の方のみ観戦できます。詳しくは、福岡県高体連ホームページに掲載している【観戦希望保護者の方へ】を確認して下さい。
- ④ 選手控所については、主催者で間隔をあけるため禁止場所を設定しますので、それ以外の場所で設置をお願いします。
- ⑤ 選手控所で休憩する場合は、フィジカルディスタンスを確保するよう指導をお願いします。また、大声で会話等することのないよう指導をお願いします。
- ⑥ ごみは各自で、各学校で必ず持ち帰ってください。
- ⑦ 競技会終了後、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所等に報告し、各学校で把握しておいてください。必要があれば福岡県陸上専門委員長（筑前高校：凌 092-807-0611）に報告してください。

（2）参加者が競技を行う際の留意点

1) 基本的注意事項

「参加学校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ」を確認し、競技会の参加者に以下の留意点や遵守すべき内容を周知・徹底を指導してください。

- ① 招集所では、他の選手とフィジカルディスタンスを確保し招集を受ける。
- ② 唾や痰を吐く行為は行わない。
- ③ タオルの共用はしない。タオルは各自で持参する。
- ④ 控所では、周囲の人とフィジカルディスタンスを確保する。大声で会話をしない。
- ⑤ 試合中などに選手が倒れた場合は直接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡する。ただし、緊急を要する場合は、その限りではない。

2) トラック競技

- ① レース中にマスクを着ける必要はないが、招集中・移動中・待機中は着用する。マスク着用による熱中症にも注意をする。
- ② レース終了後、手洗い・洗顔を徹底する。

3) フィールド競技

- ① 待機場所における選手同士のフィジカルディスタンスを確保する。競技役員の指示に従う。
- ② 投てき器具は共用となるので、終了後の手洗い・洗顔を行う。また、競技中に不用意に手で顔を触らないよう注意する。
- ③ 助走練習、投てき練習時に並ぶときは、フィジカルディスタンスを確保する。
- ④ 選手同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用する。

4) ウォーミングアップ会場の配慮事項

- ① フィジカルディスタンス確保の工夫を行う。
- ③ 競技者自身のみでウォーミングアップを行う。（付き添いは付かない）
- ④ ウォーミングアップ会場での観戦を禁止する。

(3) その他留意事項

1) 体調の確認

学校（チーム）で参加する場合は、選手の体調管理を徹底する。

2) マスク等の準備

学校（チーム）の競技会参加者がマスクを準備しているか確認する。参加者が、運動・スポーツを行っていない間、特に会話するときには、マスクの着用を指示する。

3) 競技会の参加前後の留意点

競技会に参加する学校（チーム）は、競技会前後のミーティングなどで3つの密を避ける。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮する。

4) 手洗いの実施

競技会の間に手洗いをこまめに行うよう指導する。

①手洗いは、30秒以上行う。石鹸は競技場にも準備するが、できるだけ各自で持参する。

②手洗い後、手をふくために各自でタオル等を準備する。タオル等を共用しない。

③手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。競技場にも準備するが、できるだけ各自で持参する。

④フィールド競技に出場する競技者は、競技終了後手洗い、洗顔を実施させる。

5) 更衣室、休憩、待機スペースでの行動について

更衣室は100mゴール地点側のみ利用できる。ただし、シャワーの使用は禁止する。

休憩、待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に配慮して使用するよう指導する。

①広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。

②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度にスペースに入らないよう指示する。

③室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。

6) 洗面所

洗面所（トイレ）も感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に配慮して使用するよう指導する。

①トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。

②トイレの便器の蓋を閉めて汚物を流すよう指示する。

③手洗いは、30秒以上行うよう指示をする。

④手洗い後、手をふくために個人でタオル等を準備するよう指示をする。

7) 観客の管理

①「競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ」を確認し、保護者以外の友人などの応援者は、会場（競技場スタンド・選手控所）への入場を自粛してもらうよう伝達する。今回の競技会については、学校関係者以外では、保護者の方のみ観戦できる。詳しくは、福岡県高体連ホームページに掲載している【観戦希望保護者の方へ】を確認する。

②集団での応援は禁止、また応援者同士の距離を2mほど開ける。声をだして応援しない。また、タイム読みも禁止する。手拍子での応援は可。

8) ごみの廃棄

各チームが出したごみは持ち帰る。また、以下に配慮して回収を行う。

① 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れ密閉する。

②ごみを回収する人は手袋やマスクを着用する。回収が終わったら必ず石鹸と流水で手を洗う。

【参考】

○各校顧問の動き

①競技会前

選手などの体調管理を徹底する。

②競技会当日

- ・正面玄関前で、学校受付と審判受付を行う。
- ・各種提出物（お金含む）や選手変更手続きを行う。
- ・「競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ」が守られているか確認を行い、生徒などに適切な指示を出す。
- ・選手などの体調管理を徹底する。

② 競技会後

- ・競技会終了後、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所等に報告し、各学校で把握する。必要があれば福岡県陸上専門委員長（筑前高校：凌 092-807-0611）に報告する。

○選手などの動き

①競技会前

体調管理を徹底する。

②競技会当日

- ・体調管理を徹底する。
- ・競技場 1 階室内など立ち入り禁止区域に入ることにはできない。更衣室は 1 0 0 m ゴール地点側のみ利用できる。ただし、シャワーの使用は禁止する。
- ・競技場 1 階への出入りは、1 0 0 m スタート地点後方出入口と 1 0 0 m ゴール地点前方出入口から行う。
- ・「競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ」を守っているか、確認を行いながら競技会に参加する。

③競技会後

- ・競技会終了後、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所等に相談し、各学校顧問へ報告する。

○待機場所など

- ・競技場 1 階外側メインスタンド裏
待機ができる場所とできない場所を区分けしている。
- ・競技場 1 階外側バックスタンド裏
待機ができる場所とできない場所を区分けしている。
- ・競技場 3 階メインスタンド裏
待機ができる場所とできない場所を区分けしている。
- ・メインスタンド

ターフなどを使ってよい。ただし、他校との間を 2 m 以上取り、風などで飛ばないようにする。また、写真判定に支障が出るため、ゴール地点と写真判定室を結ぶライン上は場所取りを禁止する。フィジカルディスタンスを確保する。

※サイドスタンド、バックスタンド

観戦する保護者（サイドスタンドとバックスタンドのみ認める）の方と極力接触しないようにするため、待機場所としての利用は禁止する。

[報道取材者への協力事項]

- ① 基本的に競技に関する取材のみ認める。
- ② 福岡県高体連陸上専門委員長（筑前高校：凌092-807-0611）に取材の申請を必ず行う。
- ③取材人数は、1社1名を基本とする。
- ④取材エリアについては、競技・審判に支障がなく安全なエリアで行う。審判の指示に必ず従う。
- ⑤会場内では、フィジカルディスタンスを確保し、3密を防ぐ。
- ⑥取材中は、必ずマスクを着用する。また、ビブスを必ず着用する。
- ⑦会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心がける。